

## 共創型社会環境デザインプログラム『FUTURE LENS』

### 2026年7月6日より第2期募集を開始

社会課題の可視化や社会起業家の事業価値の体系化などを支援

東京・大阪・九州の拠点「PYNT」にて説明会を開催

株式会社日建設計（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：大松敦、以下「日建設計」）は、株式会社 Zebras and Company（ヨミ：ゼブラ アンド カンパニー、本社：東京都港区麻布十番、代表取締役：阿座上陽平、田淵良敬、以下Z&C）と共に、共創型社会環境デザインプログラム『FUTURE LENS（フューチャーレンズ）』の第2期募集を開始いたします。エントリー期間は2026年7月～2026年9月初旬を予定しています。

#### ■ 共創型社会環境デザインプログラム『FUTURE LENS（フューチャーレンズ）』とは

地域とつながりのある社会起業家が取り組む事業の価値の「体系化」や、いち早くピントを合わせ始めている社会課題の「可視化」を通じて、彼らの「未来への視点（FUTURE LENS）」を社会に広げるための仕組みとして考案したプログラムです。本プログラムの特徴として、実証研究費の提供だけでなく、日建設計のPYNTチームとZ&Cが伴走支援します。

地域の社会起業家が取り組む「事業の価値を定量化できていない」「事業を一步前に進めるために課題を構造化したい」「どのようにまちに展開していけばいいかわからない」といった課題に対して、日建設計の持つ、社会環境デザインの視点（専門性や人をつなぎ、関係者を調整してまちに確かな一歩を実装する力）と、可視化や定量化、仕組み化といった技術で応えます。

日建設計が125年以上にわたり培ってきた経験や専門性と、Z&Cが持つ社会課題解決を事業に繋げる事業構築力及びプロジェクト推進の伴走力を活かし、社会課題解決に資する取り組みを推進していきたいと考えています。

#### ■ FUTURE LENS ANNUAL REPORT 2025-2026をリリース



「FUTURE LENS ANNUAL REPORT 2025-2026」をリリースしました。第1期初年度の採択企業3社の取り組みをはじめ、活動を通して見えたFUTURE LENSの意義や、システムチェンジを生み出す共創のポイント、構想設計や合意形成の手法を体系化しビジョンを実装へと導く4つのフレームワーク「FUTURE LENS METHOD」などをまとめました。日建設計のプログラムディレクターとZ&Cの鼎談やFUTURE LENSのスピノフ企画も収録しています。企業がFUTURE LENSに応募した理由や取り組みにより生まれた変化、共創社員の気づきや成長などもあわせてご覧ください。

[https://www.nikken.jp/ja/dbook/future\\_lens\\_annual\\_report](https://www.nikken.jp/ja/dbook/future_lens_annual_report)

## ■ 『FUTURE LENS（フューチャーレンズ）』の第2期募集概要

### <応募期間>

- ・2026年7月6日（月）～2026年9月11日（金）  
事前登録フォームは[こちらから](#)  
ご登録いただきますと、応募書類をダウンロードいただけます。

### <採択事業者数>

- ・3事業者程度

### <金額・期間>

- ・1事業者あたり、年間最大500万円
- ・原則2年継続（但し、成果報告等を踏まえ、毎年継続判断を実施）

### <伴走支援>

- ・日建グループ社員がプログラムの伴走支援を担当  
※支援は原則本プログラムに関する活動のみ対象となります  
※日建グループ社員に加え、社外のPYNT共創パートナー企業の社員（日建設計の社外人員）が参加する場合があります。  
※その他詳細は、[公式ページ](#)にてご案内  
※お問い合わせ先 FUTURE LENS 事務局 e-mail：[futurelens@nikken.jp](mailto:futurelens@nikken.jp)

## ■ 日建設計が『FUTURE LENS』を始める理由

社会環境デザインプラットフォームへの進化を目指す日建設計では、今後、より複雑化する社会課題の解決を目指し、社内だけでなく、企業や大学、行政、NPOといった社外の共創パートナーも巻き込んだ、オープンイノベーションを推進する共創の場「PYNT東京」を2023年4月に、「PYNT竹橋」を2025年11月にオープンしました。

<https://www.nikken.jp/ja/about/pynt.html>

そこで、課題意識を持つパートナーとのマッチング強化、ツールの開発やプロジェクトの解像度を上げる取り組みを展開することに加え、「地域とのつながりのある社会起業家の取り組みを起点とした社会実装の支援」として、今回のプログラム『FUTURE LENS』を始動するに至りました。

[https://www.nikken.jp/ja/about/pynt\\_futurelens/index.html](https://www.nikken.jp/ja/about/pynt_futurelens/index.html)

日建設計は、これまで渋谷駅周辺地域の再開発やうめきた2期地区開発などに代表される都市計画やまちづくりに関与し、多くの関係者との合意形成を図るために課題の可視化や定量化に取り組んできました。本プログラムでもこうした強みとPYNTの場とネットワークを使って、地域の社会起業家が取り組む事業課題の見える化、またその事業価値を体系化することで、課題解決の社会実装を強力に推進していくことを目指します。

## ■ FUTURE LENSが目指すもの

日建設計の専門性を活かし、地域の社会起業家と共創することで、より広い社会課題解決を目指す仕組みづくり。さらに、暮らしの潜在的ニーズに対する解像度を高めるスキルなど、本プログラムでの取り組みを通じて得た知見や経験を未来の都市に活かすことで、社会環境デザインを拓き、未来の都市における新たな価値創出を実現します。



## ■ 『FUTURE LENS』今後の予定について

選考スケジュールは下記のように予定しております。

### ① 本プログラム説明会

本プログラムの説明会を各地区拠点オフィスのPYNTとオンラインにて実施いたします。

お申込みと詳細は下記Peatixから、お気軽にご参加ください。

<https://futurelens2.peatix.com>

【大阪】7月29日（水）12:00-13:30@PYNT大阪（現地/オンライン）

場所：日建設計大阪オフィス(大阪府中央区瓦町3丁目6-5 銀泉備後町ビル)

【東京】8月4日（火）18:30-20:00@PYNT竹橋（現地/オンライン）

場所：日建設計東京・竹橋オフィス（東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイド・ビルディング5F）

【九州】8月20日（木）12:00-13:30@PYNT九州（現地/オンライン）

場所：日建設計九州オフィス5階（福岡市中央区天神1-12-14）

【応募相談会】8月31日（月）12:30-13:30（オンライン）

※最終回では皆さまからいただいた質問や相談に回答させていただく予定です。

### ② 事前登録/本応募

2026年7月6日（月）～2026年9月11日（金）正午

※事前登録をいただいた方に、説明会のご案内や締切等の情報を発信予定です。

※事前登録後、メールにて応募書類をご送付いただき、応募完了となります。

### ③ 書類選考結果通知

2026年9月末予定

### ④ 個別ディスカッション／現地視察

2026年10月上旬～11月上旬

書類選考通過企業を対象に、相互理解を深めるための個別ディスカッションや現地視察を行います。

### ⑤ 審査会（ピッチ）

2026年11月中旬

日建設計「PYNT」およびオンラインで実施予定です。

### ⑥ 選考結果通知

2026年12月上旬

採択企業決定後、メールにて結果通知をいたします。

## ■ 日建設計について

日建設計は、建築・土木の設計監理、都市デザインおよびこれらに関連する調査・企画・コンサルティング業務を行うプロフェッショナル・サービス・ファームです。1900年の創業以来120年にわたって、社会の要請とクライアントの皆様の様々なご要望にお応えすべく、顕在的・潜在的な社会課題に対して解決を図る「社会環境デザイン」を通じた価値創造に取り組んできました。これまで日本、中国、ASEAN、中東で様々なプロジェクトに携わり、近年はインド、欧州にも展開しています。

<https://www.nikken.jp/ja/>

## ■ 株式会社Zebras and Company（ゼブラ アンド カンパニー）について

「Different scale, Different future（新しいものさしがあれば、新しい成長が起こり、新しい未来が作れる）」をテーマに、誰もが社会課題解決と持続的で健康的な企業経営に挑戦できる「優しく健やかで楽しい社会」を目指し、投資と経営支援を行う会社です。投資・経営支援、行政や金融企業との連携、「ゼブラ企業」に関するリサーチと情報発信を通してゼブラ的経営を体系化し、「ゼブラ企業」という概念が全ての企業に実装され新たなビジネスモデルの可能性を広げる世界を目指しています。

<https://www.zebrasand.co.jp>

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社日建設計広報室Tel.03-5226-3030 e-mail：webmaster@nikken.jp